



VMware Cloud Director App Launchpad 2.0.0.1 リリース ノート

VMware Cloud Director App Launchpad 2.0.0.1 | 2021 年 1 月 20 日 | ビルド 17454834

このリリースノートの追加事項や更新事項を確認してください。

リリース ノートの概要

このリリース ノートには、次のトピックが含まれています。

- [新機能](#)
- [アップグレード](#)
- [解決した問題](#)
- [既知の問題](#)

新機能

このリリースの App Launchpad では、解決したいいくつかの問題と、次の機能強化が導入されています。

- **新機能** バージョン 2.0.0.1 から、VMware Cloud Director Service の拡張機能として App Launchpad を実行できます。VMware Cloud Director Service と連動するために、App Launchpad 2.0.0.1 は MQTT メッセージ バスをサポートしています。VMware Cloud Director Service と連動している場合、App Launchpad は仮想マシンおよびコンテナ アプリケーションの追加と起動をサポートします。コンテナ アプリケーションを Cloud Director Service インスタンスに起動するには、VMware Cloud Director Container Service Extension 3.0 が必要です。VMware Cloud Director Service の環境に App Launchpad をデプロイする場合の要件の詳細については、「[開始する前に](#)」を参照してください。
- App Launchpad 2.0.0.1 では、単一の RabbitMQ インスタンスを使用して、VMware Cloud Director と App Launchpad の複数のインスタンスを構成できます。「[開始する前に](#)」の「App Launchpad と VMware Cloud Director 間の通信」セクションと「[App Launchpad のデプロイ](#)」を参照してください。
- テナント ユーザーは App Launchpad 2.0.0.1 を使用して、ルーティングされた組織仮想データセンター (VDC) ネットワークを使用する Kubernetes クラスタにコンテナ アプリケーションをデプロイできます。追加の構成の詳細については、<https://kb.vmware.com/s/article/83215>を参照してください。
- App Launchpad 2.0.0.1 では、高度な環境設定のサポートが追加されています。たとえば、インターネットに接続されたリソースにアクセスするために App Launchpad サーバ ノードのシステム プロキシを追加する予定がある場合は、専用の構成ファイルで Java 環境を構成できます。「[App Launchpad のランタイム環境の編集](#)」を参照してください。
- バージョン 2.0.0.1 以降では、App Launchpad インフラストラクチャを設定するときに、ストレージの使用率を向上させるために、組織仮想データセンターを作成するときにシン プロビジョニング ストレージ ポリシーが使用されます。既存のプロバイダ組織のストレージ ポリシーは変更されません。システム管理者は、AppLaunchpad 組織と組織データセンターのストレージ ポリシーを手動で更新できます。

アップグレード

バージョン 2.0 および 1.0 から App Launchpad 2.0.0.1 にアップグレードできます。「[App Launchpad のアップグレード](#)」を参照してください。

解決した問題

- VMware Cloud Director の複数のインスタンスが単一の RabbitMQ 仮想ホスト (vhost) に接続されている場合、App Launchpad 操作がランダムに失敗する
インストールと構成中に、App Launchpad は VMware Cloud Director への拡張サービスとして登録されます。単一の仮想ホストで VMware Cloud Director と App Launchpad の複数のインスタンスを構成すると、要求が誤った App Launchpad インスタンスにルーティングされることがあります。

この問題は現在修正されています。

- LDAP または SAML を使用する VMware Cloud Director のユーザーは、App Launchpad を使用できない
LDAP または SAML を使用して VMware Cloud Director に対して認証を行うユーザーは、App Launchpad プラグインを開くことができません。App Launchpad プラグインにアクセスしようとすると、システムは「403 権限が拒否されました」のエラー メッセージを返します。

この問題は現在修正されています。

- アプリケーションを起動すると、デプロイ操作が正常に完了しても、ワークロードの IP アドレスが表示されない。
VMware Cloud Marketplace からアプリケーションを起動すると、デプロイが正常に完了した後に、アプリケーションのタイルにワークロードの IP アドレスが表示されません。

この問題は現在修正されています。

既知の問題

- OVF アプリケーションをカタログにインポートするとエラーで失敗する
OVF アプリケーションをカタログにインポートしようとすると、次のエラーが表示されてプロセスが失敗します。

```
InvalidAlgorithmParameterException: the trustAnchors parameter must be non-empty
```

1. App Launchpad サーバに root または sudo ユーザーとしてログインします。
2. ローカル ホスト ファイルに移動し、`${public-cloud-director-FQDN}` の新しいホスト マッピングを `${internal-cloud-director-IP}` に追加します。
3. パラメータ `--url` でパブリック VMware Cloud Director の FQDN を指定するには、コマンド `alp connect` を再度実行します。
4. コマンド `systemctl restart alp` を実行して、App Launchpad サービスを停止します。

- App Launchpad が AMQP SSL ポートを介して VMware Cloud Director バージョン 10.3 以降に接続できない
VMware Cloud Director 10.3 以降で RabbitMQ SSL ポートを使用して拡張性を構成すると、AMQP SSL ポートを介した App Launchpad と VMware Cloud Director との間の接続が失敗します。

回避策：

1. App Launchpad サーバ マシンに移動し、ファイル `/etc/ALPEnvironments.` を開きます。
2. 次のキーの値を `true` に変更して保存します。

```
alp.vcd-endpoint.amqp-accept-all-ssl=true
alp.vcd-endpoint.amqp-use-ssl=true
```

3. `systemctl restart alp` コマンドを使用して、App Launchpad を再起動します。
または、非 SSL ポートを使用して VMware Cloud Director の拡張性を構成することもできます。

- **新しい Bitnami 仮想マシン アプリケーションが VMware Marketplace から正常にインポートされない**

Bitnami 仮想マシン アプリケーションを VMware Marketplace から複数の VMware Cloud Director サイトにインポートし、カタログの選択で同じ名前のカタログを選択または作成すると、インポートは失敗します。

回避策：異なる VMware Cloud Director サイトでは、アプリケーションのインポート中に異なるカタログ名を使用します。

- **コンテナを起動するときに、VMware Cloud Director 10.3 で作成された Kubernetes クラスタを一覧表示できない**

App Launchpad でコンテナを起動し、VMware Cloud Director 10.3 を実行している場合、ドロップダウンメニューに Kubernetes クラスタが表示されません。VMware Cloud Director 10.3 にアップグレードする前に作成された Kubernetes クラスタは影響を受けません。

回避策：なし。

- **App Launchpad を VMware Cloud Director 10.3 に再インストールまたはアップグレードできない**
既存の App Launchpad インスタンスを再インストールまたは VMware Cloud Director 10.3 にアップグレードしようとすると、プロセスの診断手順中に次のエラーが発生します。

```
can't find the upload link in the response header to upload when installing plugin!
```

回避策：

1. VMware Cloud Director プロバイダ ポータルの Customize Portal プラグインから App Launchpad UI プラグインをアンインストールします。
2. App Launchpad のインストールを再度実行します。

- **App Launchpad サービスがローカル ネットワーク インターフェイスから外部ネットワークに接続できない**

App Launchpad サービスがローカル ネットワーク インターフェイスから外部ネットワークに接続できず、アクティビティ ログに次のエラーが記録されます。

```
com.vmware.alp.error.RestClientException:
{"status":500,"code":"ERROR_INTERNAL_SERVER_ERROR","message":"An internal server
error has been encountered.,"resource":"/api/alp/v1/csp-refresh-
token","details":{"cause":"I/O error on POST request for
\"https://console.cloud.vmware.com/csp/gateway/am/api/auth/api-tokens/details\":
console.cloud.vmware.com: Name or service not known; nested exception is
java.net.UnknownHostException: console.cloud.vmware.com: Name or service not
known"}}}
```

回避策：なし。